

2018年度も多くの反響をいただきました！

「心に響くトップのスピーチ力～人を惹きつける話の極意～」掲載新聞記事

長野日報 2018年3月21日

福島民報 2019年1月25日

「話の極意」学ぶ

内外情勢調査会 いわきの懇談会



話の伝え方について語る川辺さん

内外情勢調査会いわき支部(支部長・清水敏男いわき市長)の一月懇談会は二十三日、いわき市のいわきワシントンホテル椿山荘で開かれた。言葉のOFFICEかのん代表の川辺曉美さんが「心に響くトップのスピーチ力」のスピーチカ11人を惹(ひ)きつける話の「極意」と題して講演した。

川辺さんは、話を相手の心に響かせるために最も大切なことは「自分の一番大切な人に話すつもりで話す」とと説いた。簡潔な話し方や声のめりはりで印象づけることなど、伝え方のコツを伝授した。発音や発声のトレーニングも実施した。

川辺さんは神戸市を拠点に、話し方やビジネススマナーなどの講師として活動している。

福島民報 : 地方版 : 朝刊 掲載日:2019/01/25

内外情勢調査会

調査会

諏訪支部3月懇談会

内外情勢調査会諏訪支部(支部長・佐久秀幸長野日報社長)は20日、月例懇談会を諏訪市のベルフライン橋場で開き、フリーアナウンサーで「言葉のOFFICEかのん」代表の川辺曉美氏が「心に響くトップのスピーチ力」人を惹きつける話の「極意」と題して講演した。聞き手に思いを伝えるための話し方のポイントを解説し、「いつも自分の大切な人に話すつもりで話してください」と呼び掛

心に響くトップのスピーチ力 ～人を惹きつける話の極意～

フリーアナウンサー
「言葉のOFFICEかのん」代表
川辺 曉美 氏



「相手の心を動かすのは、伝え手である皆さん一人ひとりの声や言葉に思いがこもっているか、相手の心の扉をノックできるかだ」とし、「思いを

伝えた結果、私たちが望むように相手に行動してくれて初めて伝わったといえる」と指摘。伝わりやすさを左右する要素として、

て、声や話し方の発信力、話す内容の構成力、表情や姿勢の外見力の三つを挙げ、関心度や共感性、信頼度を高める工夫が必要になることを説明した。

心に響くスピーチのために、話す前に目的や対象、状況などを把握しておくことで言葉の選び方や話すテンポが変わると強調。話のスタート地点、ゴール地点と道筋を示す「話の地図を描く」意識をはじめ、誰にでもはつきり分かる的確な言葉選びや、一文一文を短く区切る簡潔さなどの「伝わる話し方5か条」を伝授した。

声と言葉の効果的な使い方も触れた。強調したいキーワードを声のメリハリで印象付けたり、血の通った人間味ある言い直しを入れたりすることで聞き手の心を打つとアドバイス。日頃から自分の声と話し方の癖を意識することや、心と言葉の感性を豊かにすることを心掛け、苦手なタイプの人や初めて会う人にも自分の大切な人と同じように言葉を優しく紡いで手渡してほしいと語った。

声を磨くトレーニングの指導も行った。参加者は落語「寿限無」の一節や北原白秋の詩「五十音」を声に出し、腹式呼吸や明瞭な発音を練習した。

声を意識し言葉の感性豊かに

(手塚洋一)